

エアーツールの取扱い上の注意事項

エアーツールは取扱い保守点検の適否によって、その耐久性、性能、作業能率に著しい影響を与えます。ツールの初期性能を長時間維持して頂くための次の事項に注意してご使用ください。

- エアーツールは通常ゲージ圧0.49～0.69MPa (5～7kgf/cm²) で使用されるよう設計製作されております。ツールが作動している間は、各機種ごと仕様欄の空気消費量を必要とします。したがって、コンプレッサの空気吐出量は、同時使用エアーツールの空気消費量の和より多くなければなりません。理想的には、配管ロス、圧力低下等を加味し、全消費量より20%程度は吐出量の多いコンプレッサを設備されることが望ましく、一般的にコンプレッサの吐出量1m³/minに対するエンジンの馬力は約10馬力です。余裕のある馬力のコンプレッサをお選び下さい。
- エアーツールは微細な塵埃や砂石、ドレン等の混入が原因で作動不能等の現象をきたします。洗浄で乾燥したエアを供給するために給気ライン中にエアークリーナ、エアードライヤ、ドレンセパレータを設置し、クリーンなエアを供給してください。
- エアーツールは、高速回転、高速打撃を行う精密機械です。給油をおこたると焼きつきが原因で能力低下や作動不能になる事もありますので、適切な給油をおこたらないよう心掛けてください。
- エアーツールを効率よく、しかも安全に使用して頂くために規定の圧力0.49～0.69MPa (5～7kgf/cm²) 間の一定空気圧で使用してください。圧力が低いと性能を発揮できず、高圧で使用すると各部品の摩耗を早め故障の原因となるばかりでなく大変危険です。配管ライン中に、エアフィルタ、減圧弁、ラインオイルを設置し、圧力等の管理を行ってください。

機種	適用場所	推奨潤滑油脂		給油方式	給油量・頻度	手さし給油の場合	手さし給油口
		分類	グレード				
インパクトレンチ	エアーモータ部	添加タービン油	ISOVG32 相当品	配管路上に ラインオイルを 設置し給油	滴下量は1分間に 5～10滴 (1～2cc)	約2ccを2回以上/1日	エアーインレット
エアードリル			ISOVG46 相当品			約2ccを3回以上/1日	
ジグソ	の摺動部				滴下量は1分間に 10～15滴 (2～3cc)	約3ccを2回以上/1日	
エアーハンマ			エアーモータ部				
グラインダ	エアーモータ部	ISOVG46 相当品	配管路上に ラインオイルを 設置し給油	滴下量は1分間に 10～15滴 (2～3cc)	約3ccを2回以上/1日	エアーインレット	
ダブルアクションサンダ							
ポリリッシャ							
ディスクサンダ							
オービタルサンダ							

※当カタログ記載商品の内、減速機部・クラッチ部への日常の給油は不要です。分解整備時にグリースを交換してください。(注意) 分解整備はサービス店で行ってください。

- エアーツールの各部品は精密加工されております。投げたり、落としたり、強い衝撃を与えたり乱暴な取扱いは決して行わないよう充分注意してください。
- 塵埃や砂石等がツール内に絶対入らぬよう注意してください。
- 規定サイズのエアーホースをご使用ください。規定ホース内径以下のものを使用すると流量が不足し性能が充分発揮できません。規定内径又はそれ以上のエアーホースをご使用ください。
- ツールを無負荷で高速運転させないでください。ツールの焼きつきや部品の早期摩耗の原因になります。

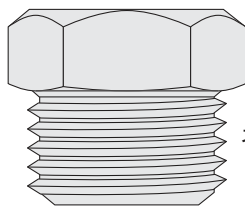
■コンプレッサの選択 (概算)

$$(空気消費量 \times 10) \times \text{使用台数} \leq \text{コンプレッサ馬力}$$



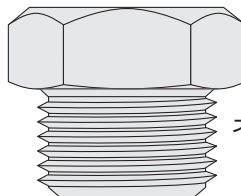
⚠ 注文時のご注意

コンプレッサのホースカップラーの形状が **インガソルタイプ** か **トーヨータイプ** かを指定して下さい。



ネジ山が粗い

●インガソル型



ネジ山が細い

●トーヨー型